

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 平成22年8月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 平成22年9月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成22年8月のアクセス件数、アクセス順位及び平成22年9月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については総務局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (平成22年8月)

平成22年8月の総アクセス数は、187,430件でした。主な内訳は、感染症56.8%、食品衛生15.4%、保健情報13.4%、検査情報月報5.0%、生活環境衛生2.0%、薬事1.2%でした。

(2) アクセス順位 (平成22年8月)

8月のアクセス順位(表1)は、第1位が「サルモネラ感染症(食中毒)について」、第2位が「マイコプラズマ肺炎について」、第3位が「緊急健康情報 熱中症」でした。

第1位の「サルモネラ感染症(食中毒)について」は、米国での鶏卵によるサルモネラ食中毒に関する報道^{*}による、アクセス数の増加と考えられます。

サルモネラ菌は一般に、汚染された家禽、鶏肉、卵、水から感染し、人間の腸管に影響を及ぼし、感染すると通常8時間～48時間以内に下痢、発熱、腹部のけいれんなどの症状が現れます。

しかし、最近の Enteritidis 感染では3～4日後の発病も珍しくない場合もあります。

健康な成人ではその症状が胃腸炎にとどまりますが、小児では意識障害、けいれんおよび菌血症、高齢者では急性脱水症および菌血症を起こすなど重症化しやすく、回復も遅れる傾向があります。

^{*}米国中西部アイオワ州で生産された卵がサルモネラ菌に汚染され、少なくとも数百人の食中毒を引き起こした疑いが強まり、同州の卵生産会社が、全米に出荷した約3億8千万個の卵の自主回収を行いました。

- ・FDA(米国食品医薬品局)によると、問題の卵はアイオワ州北部の5か所の農場で生産された。
- ・カリフォルニア、コロラド、ミネソタの各州で食中毒を発症した計270人は、この卵が原因とみられている。
- ・米国内では5月から7月までに、平年よりも1,300件多い約2,000件の食中毒が報告された。

< 参考 >

食品安全情報(微生物) 国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2010/foodinfo201018m.pdf>

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2010/foodinfo201019m.pdf> (2010年9月3日更新)

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2010/foodinfo201020m.pdf> (2010年9月20日情報)

表1 平成22年8月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	サルモネラ感染症(食中毒)について	14,139
2	マイコプラズマ肺炎について	5,601
3	緊急健康情報 熱中症	4,351
4	衛生研究所トップページ	3,522
5	百日咳について	2,733
6	サイトメガロウイルス感染症について	2,535
7	熱中症(熱射病、日射病)を予防しましょう	2,407
8	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	2,252
9	大麻(マリファナ)について	2,039
10	梅毒について	2,033

データ提供:総務局IT活用推進課

第2位は「マイコプラズマ肺炎について」でした。

国立感染症情報センターの報告によりますと、第30～34週(7/26～8/29)における、マイコプラズマ肺炎の定点あたりの報告数は、減少していましたが、第35週(8/30～9/5)では、定点あたりの報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較すると、2006年、2008年について、多い値で推移しています。

第3位は「緊急健康情報 熱中症」でした。

今年の夏は梅雨明け以降、全国的に厳しい暑さが続き、7月に入り、熱中症による救急搬送が急増しました。このため、7月23日から横浜市および衛生研究所のトップページに、熱中症についての緊急情報を掲載しました。8月に入っても、救急搬送数は増加傾向にあり、アクセス数が増加したものと考えられます。

関連情報として、第7位に「熱中症(熱射病、日射病)を予防しましょう」が入りました。

(3) 電子メールによる問い合わせ (平成22年9月)

平成22年9月の問い合わせの件数は、6件でした(表2)。

表2 平成22年9月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
かびの検査について	1	感染症・疫学情報課 (理化学部門と合議)
井戸水の水質検査について	1	検査研究課 水質担当
医療機関の方針について	1	感染症・疫学情報課
ホームページの記載について	1	検査研究課 食品添加物担当
アシネトバクター感染症について	1	感染症・疫学情報課
肺炎球菌ワクチンについて	1	感染症・疫学情報課

2 追加・更新記事 (平成22年9月)

平成22年9月に追加・更新した主な記事は、4件でした(表3)。

表3 平成22年9月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
9月9日	感染症に気をつけよう (9月号)	追加
9月9日	デング熱・デング出血熱について	追加
9月9日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	更新
9月27日	感染症Q&A薬剤耐性菌編(その2)〔感染症に気をつけよう9月臨時号〕	更新

【 感染症・疫学情報課 】